

コード	304010902
記入日	H24.6.8

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	村中 佳夫

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	有川保育所耐震改修事業
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け		
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実		款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝		項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援		目コード	1
事務事業コード	3040109	事務事業名称	保育所施設管理事業		細目コード	1342
関連計画	法令・条例規則等					

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 入所児童 (対象2)		(対象指標1) 26人 (対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・耐震設計委託 1.0式 ・耐震改修工事 1.0式 ・内装改修工事 1.0式	(平成23年度) ・耐震設計委託 1.0式 ・耐震改修工事 出来高 35% ・内装改修工事 1.0式	工事進捗率	65%	65%	工事実績+ 工事計画	平成24年度
		工事進捗率	65%	65%		平成23年度
		① (達成率分析)	地盤等の沈下があり、平成24年度へ繰り越すことになった。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・安心安全な保育を行うため、耐震診断に基づき補強工事を行う。これにより、入所児童の安全性の確保と施設の延命化を図る。		安全利用日数	0日	0%	安全利用日数÷365日	平成24年度
		安全利用日数	0日	0%		平成23年度
		① (達成率分析)	工事が終了していないため、成果はでない。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	%	100	65	65	65	35				
	②										
成果指標	①	%	100	0	0	0	100				
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	14,415	7,383		7,383	7,383	7,032				
直接事業費 A	千円	13,715	6,683		6,683	6,683	7,032				
人件費 B	千円	700	700		700	700					
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1		0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円	10,800	4,200		4,200	4,200	6,600			
	その他	千円									
一般財源	千円	3,615	3,183		3,183	3,183	432				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	安心安全な保育を行うためには必要である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	不測の事態により、やむを得ず繰り越すことになったが、ほぼ予定通りに進行している。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	ある ● ない	理 由	計画通りにしか成果はでない。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	設計どおりの成果が得られている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	代えられる ● 代えられ ない	理 由	入札により行っている。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	予定通りに終了させる。

2 次 評 価	地盤沈下の原因・分析等を行い、安心安全な保育と施設の延命化を図ること。
------------------	-------------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の 対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合		
	●	●								
					事業内容を見直して事業を継続					事業の休止
					事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。